

計測・制御と遠隔監視装置を一体化させた小松電機産業の集落排水処理システム「パッケージ水神」



集落排水の浄化と遠隔監視を一体化

小松電機産業の「パッケージ水神」

改良加え操作性高める

処理システムもコンパクト化

制御機器メーカーの小松電機産業(株)（島根県八雲村、小松昭夫社長）は、集落排水の浄化と遠隔監視を同時に行う処理システムのコンパクト化に成功した。「パッケージ水神」の商品名で販売する。集落排水の浄化装置と計測・監視機能を併せ持つ従来型の「NEWやくも水神」を改良して仕上げた。

パッケージ水神は、システム自体は従来型と同じだが、これまで別々だった計測・制御装置と監視装置の一体化を図り、操作性を高めた。さらに機器のソフトウェアを進め、水質デー

タの蓄積や処理パターンの実績や評価を可能にした。計器のモニターやスイッチ類は液晶画面切り替え、画面上に表示・入力するタッチパネル方式とした。電話回線を利用する同システ

ムでは最大十五カ所の終末処理場と四百五十カ所の中継ポンプの運転状況の遠隔監視ができる。既存の処理場にも導入できる。

システムの導入費は処理対象人口五百人規模で電気工事を含め二千二百四十万円、千八百人規模では六千九百五十万円と七千六百万円の二タイプがある。

排水処理は回分式と呼ばれる浄化方法を採用しており、これまでに稼働している島根県佐田町では全窒素の除去率が九一・三%、全リンの除去率は七〇・一%の実績が報告されている。